



SPARROWS PAPER

「ヤングアダルト」は「若い大人」という意味のことばです。主に13歳から18歳までのティーン世代を指します。
(「YA(ワイエー)」は Young Adult の略) 泉図書館では1階に「YAコーナー」として、
中高生の皆さん向けの本を集めたコーナーを設けています。



もっと知りたい 仕事の本

将来就きたい仕事は何？気になる職業はある？
今回は仕事に関する本を集めてみました！



なぜ僕らは働くのか

君が幸せになるために考えてほしい大切なこと

池上 彰／監修 学研プラス Ta366

仕事ってなんだ？働くってなんだ？中学2年生のハヤトは、職場体験で書店に行くことになった。自分の働く姿なんて想像できないハヤトだったが、叔母の優に見せてもらった本を読んで、働くことや自分自身について見つめるようになる。マンガや図などで分かりやすく書かれた一冊。

あめつちのうた

朝倉 宏景／著 講談社 アサ

運動音痴の雨宮大地は、野球部のマネージャーとして出場した甲子園での出来事がきっかけで阪神園芸に入社するが、運動センスの無さから仕事は失敗続き。希望して入社したはずなのに、「本当に一人前になれるのか？」と、もがく日々を送っている。選手たちのために地道に整備し続けるグランドキーパーの物語。

おとな観察図鑑

大きくなったら身につけたい“おとなの技”

こども記者クラブ／著 宝島社 Tc360

えらいおじさん、ゆとりのお兄さん、お局なおばさんー。こども記者たちが、パパの会社に潜入レポートしてみると、そこには、不思議な人がいっぱい！オフィスや会議室などでの謎の習慣を子どもの視点で見た一冊。パパやママも思わず納得する生態が…。

5分でわかる10年後の自分

2030年のハローワーク

図子 慧／著 KADOKAWA Ta366

—AIで、わたしたちの仕事はどんな風になるのか？—
授業で、「どんな仕事が10年後も残ると思うか」というグループ討論をした5人の中学生は、とある研究所主催の「未来のハローワークVRツアー」で将来の仕事や働き方を体験してみることに…。

アラスカ光と風

星野 道夫／著 福音館書店 Td916ホ

アラスカの自然を撮り続けた写真家、星野道夫。始まりは学生の時に見た小さなエスキモーの村の写真だった。突き動かされるようにその土地を目指した若き日の旅行記。現地の人に交じって暮らしたからこそ見えてきたアラスカの魅力と著者の情熱が感じられる本。

これを知らずに働けますか？

学生と考える、労働問題ソボクな疑問 30

竹信 三恵子／著 筑摩書房 Tb366シン

「賃金は会社が決めるもの？」「バイトは休暇が取れない？」
ブラックバイトや有給休暇など、働く上で知っておいたほうが良い権利やルールについて書かれた本。Q&A形式なので、自分が知りたいところを読むだけでも、仕事に対する理解が得られるはず。

「くうき」が僕らを呑みこぶ前に

脱サイレント・マジョリティー

山田 健太／作 たまむら さちこ／作 理論社 Ta310

「空気を読む」という言葉をよく耳にするようになった近年。空気を読んで周りに合わせることで無理をしてはいませんか。ちょっとヘンだな？と思ったら声を上げてみる練習を少しずつしてみると、また少し違った未来が待っているかもしれませんよ。

ふしぎで美しい水の図鑑

水のさまざまな表情をたのしむ

武田 康男／文・写真 緑書房 Tc450

私たちの生活に欠かさない水。雪や雲、虹を写す水滴など、様々な姿に変わって私たちの生活に恵みや感動を与えてくれる存在です。不思議で美しい写真と水が引き起こす自然現象の仕組みを、図表を使って優しく教えてくれる図鑑。読めば少し違った視点で水の不思議な現象をみられるかも。

ほかにも！

・指と耳で見る、目と手で聞く

視覚障害・聴覚障害のある人の暮らす世界

金治 直美／著 ペリかん社 Ta369

図解でわかる 14 歳からの金融リテラシー

社会応援ネットワーク／著 太田出版 Tb330

成年年齢引き下げや、金融教育の義務化などで何かと注目を集める「お金」のこと。お金の基本的な知識から、金融用語、お金のまつわる身近なトラブルなどが分かりやすく解説された1冊。お金の知識を深めて生きる力を高めていきましょう。

・世界でいちばん素敵な宗教の教室

保坂 俊司／監修 三オブックス Tb160

・たとえ祈りが届かなくても君に伝えたいことがあるんだ

汐見 夏衛／著 KADOKAWA Td シオ

・青春サブリ。

限界なんてない 心が元気になる、5つの部活ストーリー

青木 美帆 他／文 ポプラ社 Td セイ

仙台市図書館の新作ライトノベル



水晶庭園の少年たち 1～5

蒼月 海里／著 集英社 Te アオ

愛犬・メノウの死にショックを受け、学校を休んでしまった樹。入ることが禁じられていた亡くなった祖父の鉱物コレクションが眠る土蔵で、樹は不思議な少年・雫と出会う。水晶、蛍石、アメジスト…美しい石たちを紹介しながら、樹に寄り添い、悲しみを癒していく雫。でも、そんな雫の正体は…。

夏へのトンネル、さよならの出口

八目 迷／著 小学館 Te ハチ

欲しいものが手に入る代わりに年を取ってしまうという噂の「ウラシマトンネル」。それらしきトンネルを見つけた塔野カオルは、転校生の花城あみずとともにトンネルの探索をすることに。カオルが取り戻したいのは、亡くなった妹のカレン。カレンに会うべくトンネルの中を進み続けるカオルは、たどり着いた先で本当に取り戻したかったものに気付いてしまう。

異世界食堂 1～6

広瀬図書館所蔵

犬塚 惇平／著 主婦の友社 B イヌ

本来定休日である土曜日に特別営業する異世界食堂こと洋食のねこや。何が特別で異世界か？それは、土曜日だけ冒険者や魔術師、竜の女王など、異世界から個性的な客が集まるのだ。そして、彼らは人間界の料理のおいしさに感動し、驚き、虜になっていく……。自分の好物を初めて食べた時の感動を覚えていますか？それを思い出してお腹がすいてきちゃうかも。

6月18日から泉図書館 YA 図書委員会の募集が始まります。

今年もビブリオバトルを開催します！詳しくは募集のチラシや仙台市図書館 HP、Twitter をチェック！本好きな方、図書館のお仕事に興味がある方、とにかく何かやってみたいという方、参加を待っています♪

